

「どんなに素晴らしい製品でも、遊技者が着席動機、遊技動機を持たなければ動かない」という考えの下、「人間はあらゆるバイアスの元に思考・行動を決定する」という仮説を立て「バイアス」を表出させ数値化。経験則や外部要因に左右されない客観的な遊技機評価指標の作成を目的とし、諏訪理科大学統計学講師の桜井先生、(有)ノブ・石川氏を中心にプロジェクト化しました。 ※遊技機解析「Analyze」は会員限定の遊技機情報です。



機種名: **北斗の拳 強敵(とも)**

(SAMMY)

導入予定日: **2015.9.6~**



1店舗あたりの
設置予測

予測設置台数:

7.5台以上

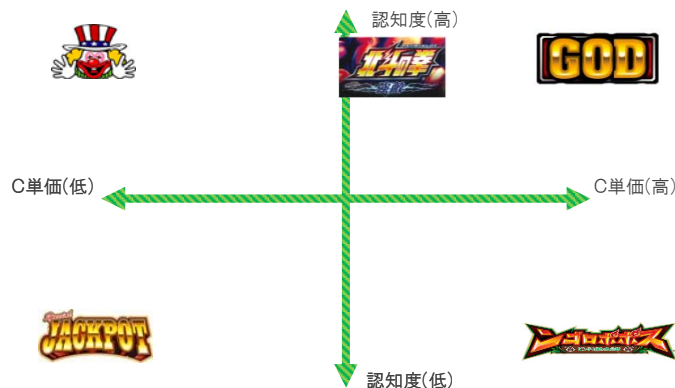
推奨設置台数:

6台以上

Schedule

日付	機種名	販売予測台数
9/6	北斗の拳 強敵	65,000台

Positioning-Map



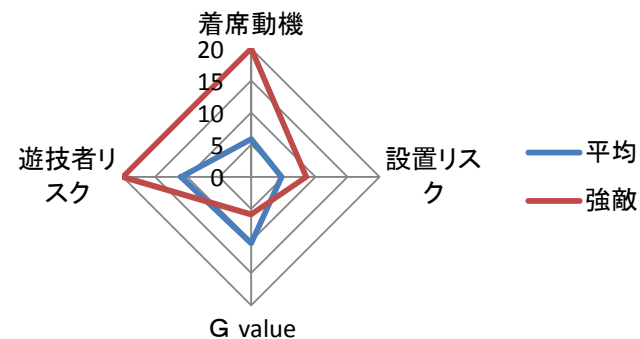
Comment (機種背景)

説明不要！言わずもがなのキラーコンテンツが大きくゲーム性を逸する事無く正式な内規決定前に間に合った格好。11月以降の増産、新パネル追加といった従来の販売手法も不透明（実質不可能？）と思えるだけに、相当な引き合いが予測されるわけでした…。ただ、大きな‘事故出玉’は期待できない仕様だけに、設定を含めた導入後の運用次第という宿題は忘れずに提出したいなど。

Comment (試打時の肝)

化物語で好感触を得たのか、今回は差枚数管理を採用。ただ、北斗では初なだけに、慣れた演出の流れの中で「+50枚」となった際の遊技感は試打のポイント。「伝承の刻／ひでぶポイント」、「七星勝舞」のチャンスゾーンの‘抜け’感覚は従来機の遊技で学習済であろうからさほど気にしなくとも良さそう。ケンシロウの攻撃パターンや対戦相手-ステージに応じて上乗せ枚数が変化する等、打ち込み・解析要素は多彩で、このあたりは運用時に上手く使いたいところ。

解析レポート



着席動機:パチスロコンテンツでは筆頭

設置リスク:昨今の市場環境的には供給過多とも言えなくはないが、そこは北斗…?!

G value:1000円/約44Gの高ベース仕様

遊技者リスク:天井恩恵の薄さは過去最恐…

離反要因:GOD神々くアナザーと同様、北斗 転生と同居する営業が予測されるだけに、比較されると少々キツイか？

ゲームフロー:ほぼ‘世紀末救世主伝説(F)’に準ずるゲームフローだけに、馴染み易さは上々。

新奇性:マイスロのボイスナビ(笑)

総合評価



**初週 予測 OUT
24020**